

義侠屋 ● 三重県四日市市 ●



● 売場2坪からスタート
森井徹さんは28歳だった1995年に、父親が経営していたCVSの一角を間借りして和酒専門店『義侠屋』を始めた。売場面積は2坪。



人物 | 社長の森井徹さんと娘の佑奈さん / 下 | リーチン11面のうち、三重県産清酒は1.5面を占める / 中右 | 店内で地元の特産物・萬古焼の酒器を販売



「関西の大学を卒業後、酒屋に3年間勤めた。さらに専門店を持つための知識を身につけようと、関西・関東の和酒専門店でも短期間だが勉強した」と当時を振り返る。開業直後の取引先は約20歳、うち直取引が約10歳だったという。

2001年に、当時の店舗に近く、近鉄四日市駅から徒歩10分ほどの住宅街に移転した。06年に現在の店舗に建て直し。リーチン11面に全国の清酒がずらりと並ぶ。「特に増やそうと意識したわけではないが、この20年間で様々な縁を

この20年間で様々な縁を

お客と共に「健康」づくり

共ニウエルネスライフを指していきいたい」という経営理念を掲載。ウエルネスライフとは「心も身体も健康で、かつ心の豊かさも重要」という意味だ。

YON 市内の酒販店と昨年発売した「マルヨ」(マルヨ)の市内で育てた三重県独自の酒造好適米・神の穂を市内蔵元に委託して製造するもの。「市内には複数の蔵があり、リレー式でお願している。ラベルの四重丸は『米農家』『酒蔵』『酒屋』『飲み手』の四つがそろって完結する酒であることを表している」(森井さん)



制作した酒器で、日本酒を楽しんでもらう趣旨。イベントには制作者8人も参加し、各自の作品を紹介する。参加者は気に入った器で日本酒とつまみを楽しみ、最後は酒器を持ち帰れる(森井さん)

- 所在地 ● 三重県四日市市鶴の森 2-6-13
- 電話番号 ● 059 (355) 1995
- 営業時間 / 定休日 ● 午前10時～午後8時 / 日曜、第1・3月曜
- 店舗面積 ● 53㎡
- 売上構成 / 酒類構成 ● 業務用70%、家庭用30% / 清酒70%、焼酎20%、その他10%
- HP ● <https://www.zizake.com/>